

福島労働局発表



平成26年8月22日

担
当

福島労働局 労働基準部

健康安全課長

伊藤 克義

主任地方産業安全専門官 清水 俊明

電話024-536-4603 (直通)

「死亡労働災害多発非常事態宣言」を発令

7月末までに23人が死亡（前年同期比12人増）

主要労働災害防止団体の代表者に緊急要請

福島県内の労災事故による死亡数は7月末で前年同期比12人増の23人となり、この時期としては平成19年以来の極めて憂慮すべき事態となっている。

このため、福島労働局（局長 引地睦夫）は、本日、福島労働局として初となる「死亡労働災害多発非常事態宣言」（別添1）を発令するとともに、「死亡労働災害撲滅対策要綱」（別添2）を定め、同要綱に基づき、本日から12月31日までの間、労働災害防止対策を徹底することとした。

その一環として、次のとおり管内の主な労働災害防止団体の代表者に対し、労働局長から労働災害防止対策の徹底について緊急要請を行う。

日時 平成26年8月25日（月） 午後0時40分 より
場所 福島労働局 4階会議室 （福島市霞町1-46 合同庁舎）

出席者 一般社団法人 福島県労働基準協会 会長 唐橋 幸市郎 氏
建設業労働災害防止協会福島県支部 支部長 小野 利廣 氏
陸上貨物運送事業労働災害防止協会福島県支部 支部長 渡邊 泰夫 氏

福島労働局及び各労働基準監督署は、上記を含め県内約300の労働災害防止団体・事業者団体等に緊急要請を行うなど、組織の総力をあげて本対策を推進し、死亡労働災害の撲滅に万全を尽くすこととしている。

◎ 死亡労働災害の発生状況（詳細は別添3参照）

死亡者を業種別で見ると、建設業が10人（前年同期7人）、製造業5人（同0人）、道路貨物運送業5人（同1人）となっており、建設業では建設機械災害（3人）、土砂崩壊（2人）、製造業では機械へのはさまれ・巻き込まれ災害（2人）などが目立っている。

(別添1)

死亡労働災害多発非常事態宣言

福島労働局管内では、本年1月から7月末までの期間中に、労働災害により23名の労働者が亡くなっている。

これは、平成19年以来最多で、前年同期比で12人増加しており、極めて憂慮すべき事態である。

これ以上尊い生命が失われることがあってはならない。

このため、ここに「死亡労働災害多発非常事態宣言」を発令する。

福島県の着実な復興のためには、これを担うすべての労働者の安全と健康が確保されることが不可欠である。

事業者はもとより、すべての関係者が一丸となり、死亡労働災害の撲滅に向け、総力を挙げて取り組むよう要請する。

平成26年8月22日

福島労働局長 引地睦夫

(別添2)

死亡労働災害撲滅対策要綱

1 趣旨

福島労働局管内の労働災害による死亡者数は、平成25年に対前年比で5人増加の31人となったため、福島労働局は労働災害防止対策を強化してきたが、平成26年に入っても死亡災害の増加に歯止めがかからず、7月末時点で、対前年比12人増の23人となり、極めて憂慮すべき状況となっている。

このため、「死亡労働災害多発非常事態宣言」を発令し、福島労働局・労働基準監督署は、福島県内の事業者及び関係者と一丸となり、組織の総力を挙げて、死亡労働災害撲滅の取組に万全を期すこととする。

2 対策実施期間

平成26年8月22日から12月31日まで

3 福島労働局・労働基準監督署の主な実施事項

(1) 福島労働局

ア 「死亡労働災害多発非常事態宣言」を発令し、事業者及び労働者はもとより、あらゆる関係者に対して、労働災害防止に向けた意識の高揚を図る。

イ 労働災害防止団体に対する緊急要請を行い、安全パトロールの実施、安全衛生活動総点検の実施等の労働災害防止対策の徹底を求める。主要労働災害防止団体の代表者には、局長が直接要請する。

また、県単位のあらゆる事業者団体、労働団体、各種工事の発注機関等に対しても、労働災害防止についての協力を要請する。

ウ 福島県内で除染作業を含む復旧・復興工事を施工している大手ゼネコンに参集を求め、労働災害防止対策の徹底等について要請する。

エ 10月に開催される福島県産業安全衛生大会をはじめとして、各種事業者が参集するあらゆる機会をとらえて、労働災害防止対策の徹底を要請する。

オ 各事業場、現場事務所に「死亡労働災害多発非常事態宣言」の発令に係るのぼりの掲出を促し、リーフレットを作成・配付する等により、広く安全意識の高揚を図る。

カ 国土交通省福島運輸支局と連携し、交通労働災害防止の取組を推進する。

(2) 各労働基準監督署

ア 各地区の事業者団体及び各種工事の発注機関等に対して、労働災害防止についての協力を要請する。主要労働災害防止団体の代表者には、労働基準監督署長（以下「署長」という。）が直接要請する。

イ 事業場に対する監督指導等を徹底する。特に災害が多発している業種に対し、下記4の対策の徹底を指導する。

ウ 地区の労働災害防止団体と連携し、署長が先頭に立って、製造業等を対象とした安全パトロールを実施する。

エ 市町村発注の除染作業を行う事業者団体等に対し、労働災害防止対策の徹底を要請・指導する。

- オ 地区産業安全衛生大会、全国労働衛生週間の準備説明会等をはじめとして、各種事業者が参集するあらゆる機会をとらえて、労働災害防止対策の徹底を要請する。
- カ 「死亡労働災害多発非常事態宣言」の発令に係るのぼりを庁舎に掲出するなどにより、広く地域に対しても労働災害防止について啓発を図る。

4 主な業種ごとの対策

(1) 建設業

- ア 三大災害（墜落・土砂崩壊・重機）防止対策の徹底
- イ 工事現場の安全管理体制、安全点検体制の確立、整備
- ウ 交通労働災害防止対策の徹底

(2) 陸上貨物運送事業

- ア 交通労働災害防止対策の徹底
- イ 荷役作業における労働災害防止対策の徹底
- ウ 適正な労働時間管理及び運行管理の徹底

(3) 製造業

- ア 安全な機械の採用及び使用の徹底
- イ 雇入れ時等の安全教育の徹底
- ウ 安全作業マニュアルの整備、定期的な見直し

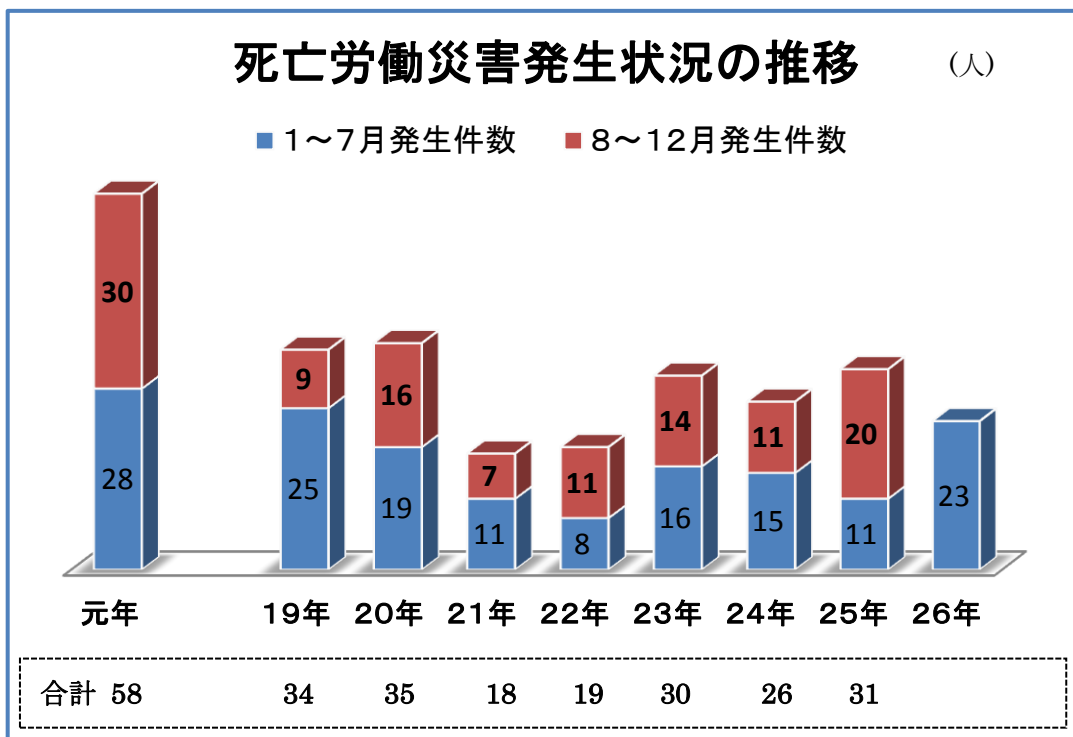
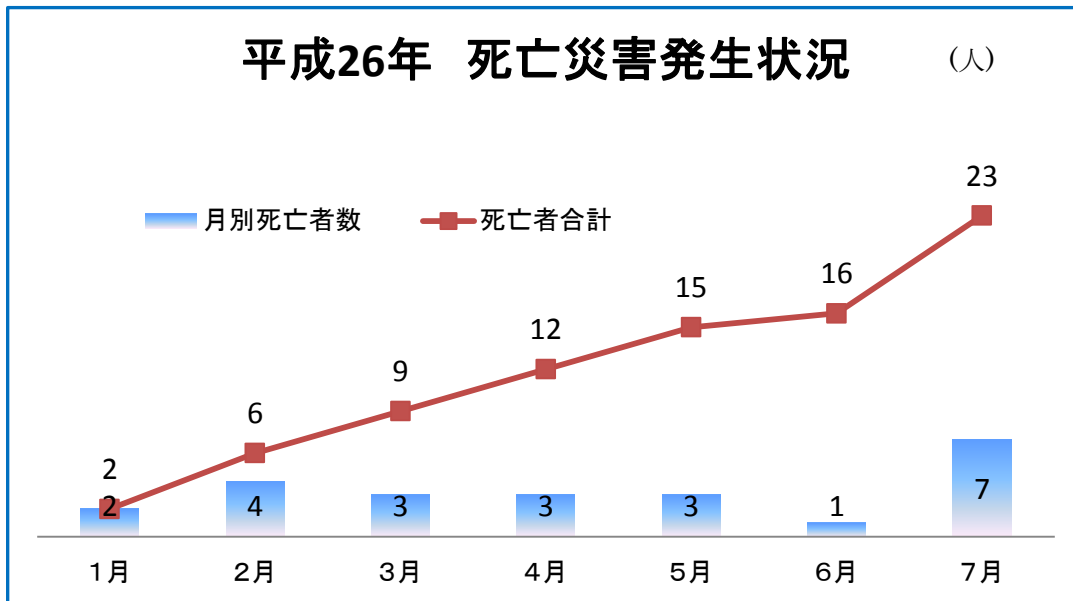
(4) 林業

- ア 安全な手順に基づく「かかり木」処理の徹底
- イ 間伐作業での安全対策の徹底
- ウ 経験の浅い労働者に対する安全衛生教育の徹底

(5) 第三次産業

- ア 転倒、墜落・転落災害防止対策を徹底するための職場内の危険個所の特定、改善の実施
- イ 重量物取扱い作業、介護作業時の腰痛予防対策の徹底
- ウ 職場の4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）、危険予知活動の推進

(別添3)



業種別の死亡災害発生状況 (人)

業 種	平成25年	平成26年	増減
製 造 業	0	5	5
土 石 採 取 業	1	0	-1
建 設 業	7	10	3
道 路 貨 物 運 送 業	1	5	4
林 業	1	1	0
商 業	1	1	0
金 融 業	0	1	1
合 計	11	23	12

平成26年 全産業死亡災害概要

福島労働局 (平成26年7月31日現在)

番号	発生日 管轄署 (発生場所)	業種 労働者数	被災者			事故の型 起因物	災害発生状況	備考 発注者
			性別	年齢	職種			
1	1月29日 郡山 (二本松市)	道路貨物運送業 13名	男	57	運転手	はさまれ、巻き込まれ 動力運搬機	クレーン付きトラックで荷物を配送中、トラック下部のシャフトにゴムバンドがからまったことに気づき、それを取り除くために車体の下に潜りこんだところ、シャフトに上着が巻き込まれた。(現認者なし)	
2	1月31日 須賀川 (宮城県)	道路貨物運送業 19名	男	62	運転手	交通事故 動力運搬機	大型トラックを運転中、異常な音がしたため、国道わきに停車して車体下部を覗き込んでいたところ、後方から来たトラックに追突され後部車輪に頭部を強打した。	
3	2月6日 いわき (いわき市)	非鉄金属製造業 55名	男	60	作業員	おぼれ 仮設物、建築物、構築物	ドラム缶に水を張り、エポナイト樹脂片を洗浄する作業において、ドラム缶の水が凍結していたためその氷片を付近の冷却池へ投棄していたところ、冷却池に転落した。(現認者なし)	
4	2月17日 郡山 (福島市)	道路貨物運送業 87名	男	40	運転手	交通事故 動力運搬機	大型トラックの助手席に乗車し、東北自動車道上り車線を走行中、路肩に停車していた大型トラックに追突した。	

5	2月18日 相馬 (相馬市)	建築工 事業 6名	男	63	作業員	崩壊、倒壊 環境等	夜間照明設備工事において、深さ約2mの掘削坑内で照明柱基礎コンクリートの型枠パイプ撤去作業中、付近の法面が土砂崩壊したため、ほかの作業員が土砂の撤去をしていたところ、同箇所の土砂がさらに崩壊し埋まってしまった。	地方公 (市)
6	2月28日 福島 (郡山市)	道路貨 物運送 業 20名	男	40	運転手	交通事故 動力運搬 機	高速道路下り車線を走行中、前方を走行していた大型トラックに追突した。	
7	3月5日 会津 (南会津町)	土木工 事業 31名	男	60	車両系 建設機 械運転 手	はさまれ、 巻き込ま れ 建設機械 等	ドラグ・ショベルを運転して砂利を敷く作業中、エンジンを止めずにドラグ・ショベルから降りようとしたとき、雨合羽が旋回レバーに引っかかり、ドラグ・ショベルごと旋回した後に、クローラーとキャビンの間に体を挟まれた。	地方公 (県)
8	3月28日 富岡 (双葉町)	その他 の建設 業 4名	男	55	作業員	崩壊、倒壊 環境等	貯蔵庫を支える地下の杭の補修工事において、掘削した建物基礎の下に入り、杭に付着した捨てコンクリートのハツリ作業中、捨てコンクリートと土砂が崩れ下敷きになった。	民間
9	3月31日 郡山 (白河市)	その他 の商業 2名	男	61	作業員	飛来、落下 荷	移動式クレーン機能付きトラックの荷台に廃棄する制御盤等を積み込む作業中、何らかの原因で荷台から制御盤が落下し、制御盤の下敷きになった。	

10	4月11日 白河 (白河市)	自動車部品製造業 98名	男	54	作業員	挟まれ・巻き込まれ 動力機械	不具合で停止した機械の電源を切らずに機械の内部点検作業中、機械が急に動きだし機械のフレーム部分に頭部がはさまれた。(単独作業中)	
11	4月14日 いわき (いわき市)	土木工事業 2名	男	32	土工	飛来・落下 建設機械等	道路新設工事現場で法面をバックホウで掘削していたところ、法面上部にあった切り株(直径2m)が弧を描くように落下し、盛土部で型枠組立中の作業員に激突した。	国
12	4月25日 郡山 (磐梯町)	食料品製造業 8名	男	52	作業員	激突 動力運搬機	工場内でリーチフォークリフトを運転し、製造した氷をベルトコンベアに乗せた後、バックした際にフォークリフトと壁の角部分に頭部と胸が挟まれた。(出張先で作業中)	
13	5月12日 福島 (二本松市)	食料品製造業 45名	男	72	配送員	交通事故 乗物	ワゴン車で走行中、カーブでセンターラインを越えて、対向車のタンクローリーと正面衝突した。	
14	5月21日 須賀川 (天栄村)	建築工事業 10名	男	64	作業員	墜落、転落 仮設物、建築物、構築物用具	倉庫新築工事において、脚立足場の上で、ベニア貼りの作業中、足場から墜落した。	民間
15	5月31日 会津	非鉄金属製造業	男	34	製造工	挟まれ、巻き込まれ	機械で仕上圧延した銅版をリールで巻き取る作業をしていたところ、合紙を銅板に張付けるため機械を停止させず巻き取り部の下部に立ち入	

	(会津若松市)	473名				金属加工用機械	り、リールと銅版の間に上半身を巻き込まれた。	
16	6月21日 郡山 (郡山市)	土木工事業 6名	男	59	作業員	おぼれ 環境等	河川内の護岸工事において使用した排水管を河岸に移動させる作業中、岩場で排水管にワイヤーロープを玉掛けしようとしたところ、足を滑らせ河川に転落した。	地方公(県)
17	7月2日 会津 (南会津町)	林業 37名	男	59	作業員	激突され 環境等	伐倒作業の準備をしていたところ枯木(高さ約5m)が根ごと倒れてきて、その下敷きになった。	
18	7月4日 福島 (国見町)	その他の建設業 37名	男	29	現場管理人	交通事故 乗物	乗用車で工事現場に向かう途中、高速道路上り車線で走行車線の車を追い越した後、橋の側壁に衝突した。	民間
19	7月17日 相馬 (相馬市)	土木工事業 20名	男	38	作業員	挟まれ、巻き込まれ 動力クレーン等	消波ブロックの荷降ろし作業において、トレーラーの荷台から大型クレーンで消波ブロックを降ろす誘導作業をしていたところ、消波ブロックとアウトリガーに挟まれた。	地方公(県)
20	7月17日 (7月27日死亡) 相馬 (南相馬市)	その他の建設業 200名	男	50	作業員	その他 環境等	一般住宅除染現場において住宅敷地内の竹林の伐木作業を行っていたところ、ハチに刺された。	地方公(市)

21	7月23日 福島 (福島市)	土木工 事業 5名	男	19	除染工	交通事故 乗物	ワゴン車で福島市内の除染現場に向かう途中、前方の車を追い越そうとして対向車線にはみ出したところ、対向車線を走行してきた乗用車と正面衝突した。	地方公 (市)
22	7月25日 須賀川 (山形市)	道路貨 物運送 事業 20名	男	40	運転手	交通事故 動力運搬 機	トラックを運転し高速道路を秋田に向かって走行中、トンネル入り口のコンクリート壁に激突した。	
23	7月30日 郡山 (郡山市)	銀行・信 託業 35名	男	43	営業職	交通事故 動力運搬 機	軽自動車で、顧客営業の途中、交差点でトラックと衝突した。	